

日本医業経営コンサルタント協会第255回東京都支部理事会議事録

日時 令和7年1月14日(火) 19時00分～19時50分

会場 Web開催

出席者 支部長 眞鍋一 (順不同・敬称略)

副支部長 薄井照人 今村顕

理事 佐藤由巳子 外山和也 永瀬隆之 森田仁計

吉崎隆 脇千香子

監事 小野瀬由一 小林智之

11名

欠席者 理事 横田克彦

1名

審議事項等

1. 令和7年度支部事業計画と予算について

支部長より、令和7年度事業計画と予算案について説明があった。予算案について、各委員会からの要望額に関し、実際の予算執行に際して収支相償の工夫を行うものとして、要望額に対する予算額の削減を行ったことが説明され、審議の結果、全て承認された。

2. 支部總會の手続き及び日程について

支部長より、支部總會の手続き及び日程について、支部運営規則の改正により、支部總會の資料等を含む通知について、書面又は電磁的方法により7日前までに通知することとなった。電磁的方法では、会員専用ページから、支部總會資料をダウンロードできることとなる。印刷代、郵送料の削減につながることから、次回の總會からこの方法を活用したい旨が説明され、承認された。

3. 「第19回東京都病院協会学会」企画展示(2/23)について

総務委員長より、「第19回東京都病院協会学会」企画展示に関する進捗について説明があった。内容は協会及び支部のパンフレット等の配布、コンサルプラスの紹介、勤改センターに関する相談を検討していることが説明された。当日の担当者や担当時間、パンフレット等の準備予定数や、その他準備事項の具体化について総務委員会できりまとめることとし、各委員会の要望や必要に応じて、準備を進めることとした。

4. 東京大会準備委員会設置について

支部長より、来年の東京大会開催を控え、東京大会準備委員会を設置したい旨が述べられ、本部からは2月の本部理事会時にはおおまかな骨子を示してほしいとの依頼があったことが報告された。本部の学会学術委員会の委員を準備委員会委員長とし、2名の準備委員を選任して準備を開始するとともに、広報戦略委員会委員長を新たに選任し、委員を1名補充することで進めたいとの説明があり、承認された。

5. 新入会員に対する個人情報保護研修について

支部長より、本部の新入会員研修の際に個人情報保護に関する研修会を行うことを検討していたことが述べられ、本部に確認したところ、当日のスケジュールがすでに確定しており、実施できないとの返答があったことから、別日程で、新入会員に加え、既存会員も対象として個人情報保護に関する研修を実施したい旨が説明され、承認された。

6. 支部運営委員会のあり方について

支部長より、支部運営委員会のあり方について、これまで、理事会開催前に審議を深める目的で支部運営委員会を開催してきたが、事前資料の回覧を充実させること及び、必要に応じて理事会の後に合同委員会を開催することにより、来年度は支部運営委員会を当分の間中止することとしたい旨が説明され、承認された。なお、これにより、理事会及び地区協議会の開始時間を1時間前倒しにすること及び、支部運営委員会を開催せず、必要に応じて理事会と同日に合同委員会を開催することにより、日当の削減につながることを確認した。

報告事項等

1. 協会本部常任委員会委員選出について

支部長より、広報委員1名の公募に対し、2名の応募があった件に関して、理事の採決によって選出者を決定したことが報告された。

2. 支部理事会、地区協議会日程について(開催時間)

支部長より、合同委員会や大会準備委員会等を開催するにあたり、日程調整の負担及び、日当の支払いを減らすため、理事会と同日に開催することとし、従って、地区協議会の開始時

間を1時間前倒しし、17時からとすることを確認した。

3. 本部委員会等報告

1) 財務委員会

令和6年度の開催実績と個別申請書面審議の結果を報告。第4回委員会では、年度末決算見込みと次年度予算案を議論し、収支均衡を目指すことを確認。また、個別申請式予算については基準の見直しを行ったことが報告された。

2) 教育研修委員会

令和7年度事業計画案・予算案について審議し、了承されたことが報告された。講師の採用基準について、講師選定基準ではなく「講師選定指針」として定めることとし内容について審議したことが報告された。

3) 学会学術委員会

新潟大会の開催報告を受けて、今後の大会の在り方や内容の工夫について意見が挙げられたことが報告された。また、香川大会の進捗及び内容について報告があったほか、学会マニュアルについて継続して審議していることが述べられた。

4) 広報委員会

機関誌 JAHMC について審議を進めていることが報告された。配布方法の検討のほか、社名刷り込み版作成といった活用方法、紙面広告の拡大や内容の評価方法など審議している内容について説明があった。

5) 総務委員会

令和7年度事業計画・予算案、支部役員選任細則、指定講座・試験規程の改定について、審議の結果、了承されたほか、休止者等への条件緩和に関する事項及び、個人正会員に係る会員証の運用については継続審議となったことが報告された。

6) 事業連携センター（コンサルプラス）

東京都支部で第19回東京都病院学会に企業展示を行うにあたり、本部からコンサルプラスに関する資料提供が可能であるとの報告があった。

4. 支部委員会等報告

1) 支部広報戦略委員会

支部パンフレットの修正版作成の進捗について報告があった。次回東京大会の開催にむけ、対応の検討を進めていることが説明され、準備委員会の発足および広報戦略委員会の拡充や役割分担について意見が述べられた。

2) 支部会員支援委員会

今回のイベントに関する会議を行った内容について報告があった。、次回のイベントを、次年度以降の当協会および会員支援委員会の活動の方向性を議論する場として活用する意見が挙げられ、方法について説明があった。次回イベントは3月17日（月）に開催予定。

3) 支部企画委員会

東京都との共催で開催している研修会に関して、開催済みの3回分について参加者数などの実施報告があった。

小林監事より次の意見が述べられた

本部でビジョンや KPI に関する議論がなされているが、予算は、こうした活動の前提となるビジョンが現れたものであるととらえることができる。会員支援委員会に関し、会員増強に関する施策が東京大会の実施ともつながると良いと考えている。最近に参加型の研修が増えており、そういった枠組みが、東京大会における人集めや魅力ある大会づくりに繋がると考えられ、会員支援委員会のイベントにも参加し勉強できればと思う。

小野瀬監事より次の意見が述べられた

支部のホームページに関して、予算やコンテンツに苦勞しているのはどの支部でもある状況と理解するが、どのようにして会員に有効なコンテンツを作るのかについて、知恵をだし、お金をかけずに可能な方策を考えることも必要と考える。委員会によるホームページ活用も当然だが、会員にとって魅力的なコンテンツについて考えることは重要である。

以上

議事録署名人	議事録署名人
1 月 30 日	1 月 31 日
	